



389
36

山 龜太郎 著

森林司法警察事務研究書

第七卷

著者作成森林竊盜一件記錄之部

始



389-36

前田龜太郎著

森林司法警察事務研究書

著者作成森林竊盜一件記錄之部

第七卷

大 10 9 29 内交

森林司法警察事務研究書 (第七卷)

第一 著者作成森林竊盜一件記錄

緒言	一
意見書	一
事件發覺ノ始末	四
領置物件目錄	八
阿部淺吉聽取書	九
佐々木政吉聽取書	一六
山崎與之助聽取書	二一
佐々木龜松聽取書	二四
領置物件目錄	二九
鈴木國五郎聽取書	三〇
價格證明書	三三
犯所實見書	三四

一	鈴木國五郎二回聴取書	三六
一	佐々木龜松二回聴取書	三九
一	柴田常吉聴取書	四二
一	佐々木龜松性行調書	四四
一	阿部淺吉性行調書	四九
第二	執務管見録	五一
一	自ラ書類ノ作成者ハ自ラ其書類ノ判断者タレ	五二
二	事件ノ中心ヲ見落ス勿レ	五三
三	記録初頭ノ記載ニ就テ	五五
四	犯罪ノ情狀ニ關スル記事ヲ閑却スル勿レ	五六
五	法律關係ニ注意セヨ	五七
六	森林司法警察官ノ取調ハ遠ク一般司法警察官ノ取扱ニ及バズ	五九
七	自白ハ重キヲ爲サズ	六〇
八	性行調書ニ無價値ノモノ多シ	六一

九	聴取書録取以前ニ供述ノ變更アリタルトキハ變更以前ノ供述ヲ録取スルヲ要セズ	六二
一〇	事件現行犯ナルニ非現行犯ノ取扱ニヨルハ如何ニ	六三
一一	取調官ハ供述者ノ供述ヲ判断セヨ	六四
一二	捜査ハ疑問ヲ以テ進ムコトヲ要ス	六五
一三	主要事項先記主義ニ關シ	六六
一四	取扱上ノ批難ヲ避ケヨ	六七
一五	事務ノ取扱ハ敏活ナレ	六九
一六	森林司法警察官自己ノ捜査シタル事件ヲ愛セヨ	七〇

緒言

本一件記録ハ森林司法警察官事務研究書第五卷
某森林官作成事實ヲ内容トシテ新タニ著者ガ作
成シタルモノナリ而シテ原作ニ對シ増減變更ヲ
加エタル点ニ對シテハ一々其説明ヲ爲シタリ最
後ニ執務管見録ヲ付シテ著者ガ平素抱懷スル意
見ヲ發表シタリ

意 見 書

明田縣未來郡花咲村百三番地平民下駄職

佐々木 龜 松 三十一年

同 縣同 郡同 村百番地平民農

阿 部 淺 吉 二十八年

同 縣同 郡同 村百一番地平民日雇

佐々木 政 吉 五十年

同 縣同 郡同 村百二番地平民農

山 崎 奥 之 助 二十八年

同 縣同 郡同 村百六十九番地平民下駄職

鈴 木 國 五 郎 四十年



一、前 科

被告何レモ前科ナシ

二、犯罪事實

(1) 被告龜松ハ大正九年八月十三日午後三時頃樺太東海岸東國有林ニ立入り自己所有ノ領置第四號鋸及領置第五號鉞ヲ使用シテ杉立木二本此價格二十四圓ニ相當スルモノヲ盜伐シ更ラニ切斷ノ上熊ノ澤民有林ニ搬出シ同所ニ於テ同年九月一日ヨリ同廿七日迄ノ間ニ領置第四號乃至第七號ノ鋸鉞鉋鉋ヲ使用シテ長桎八千枚ヲ製作シタルモノナリ

(2) 被告國五郎ハ大正九年九月二十七日被告龜松ノ依頼ヲ受ケ其贓物タルノ情ヲ知リナガラ自宅内ニ於テ龜松ガ前記製作シタル長桎八千枚ヲ藏匿シタルモノナリ

(3) 被告淺吉ハ被告龜松ノ依頼ヲ受ケ被告政吉ハ淺吉ノ依頼ヲ受ケ被告奧之助ハ政吉ノ依頼ヲ受ケ淺吉、政吉、奧之助共同ノ上大正九年十月十六日夜ヨリ同十七日ニ亘リ贓物タル情ヲ知リナガラ長桎八千枚ヲ被告國五郎方ヨリ猿嶋村柴田常吉方ニ搬出スル目的ヲ以テ運搬行爲ヲ爲シタルモノナリ而シテ贓額四十圓トス

三、證 憑

被告人共ノ各自白及犯所實見書及領置シタル各物件ニ徴シ十分ナリ

四、法律ニ照スニ被告龜松ノ所爲ハ森林法第八十四條第一項第二號ニ被告政吉、淺吉、奧之助、國五郎ノ所爲ハ同法第八十七條及刑法第六十條ニ該當スル犯罪ト思料ス 以上

大正十年二月十七日 於花咲小林區署

森林主事 花 形 優 郎

著者ノ附記意見

一、原作意見書ハ被告淺吉、政吉、奧之助ヲ單獨ノ行爲トナシタルモノ一件記録ニ現ハレタル事實ニ徴スレバ被告三名ハ各共同犯行ト認メラルハヲ以テ本意見書ハ其趣意ニ從ヒ作成シタリ
 犯罪ノ共同ニ關シ特ニ一言スレバ本件事實ニ現ハレタル處ハ被告淺吉ハ被告政吉ニ運搬行爲ヲ依頼シ被告政吉ハ更ラニ被告奧之助ニ運搬ヲ依頼シタルヲ以テ共同意思ノ連絡アリ唯淺吉、奧之助トハ直接ニ意思

ノ連絡ナキニ非ラズヤトノ質疑ナキニ非ラザルモ政吉ハ淺吉ノ意思ヲ受ケテ奥之助ニ運搬ヲ依頼シタルモノナレバ意思ノ連絡ニ於テ何等欠クル處ナキノミナラズ彼等三名ハ運搬行爲ヲナスニ當リ各々不正物件タルコトヲ了解シ同所ヨリ同一物件ヲ運搬シタルモノナレバ共同行爲アリト認ムルニ充分ナリ共同行爲ト認ムルト認メザルトニ基ク法律關係ノ差異ハ單獨行爲ナリトセバ贓額ノ標準ハ各自運搬シタル數量ニ應ジテ定マルモ共同トセバ各自全部ノ贓額ヲ以テ其標準トナル可シ

二、原作意見書ハ其他ニモ遺漏不備ノ点尠ナカラザルヲ以テ修正ヲ加エタリ對照アランコトヲ望ム

大正九年十月十七日

花咲小林區署美術保護區官舎詰

森林主事 花 形 優 郎

事件發覺ノ始末

明田縣未來郡花咲村百番地平民農

阿 部 淺 吉 二十八年

同 縣同 郡同 村百一番地平民日雇

佐 々 木 政 吉 五十年

同 縣同 郡同 村百二番地平民農

山 崎 奥 之 助 二十八年

同 縣同 郡同 村百三番地平民下駄職

佐 々 木 龜 松 三十一年

大正九年十月十五日使用人夫早口言太郎ヨリ同人ガ十月十四日花咲村ヲ通行中夜間十二時頃ニ馬子連二人ノ者ガ何物カヲ馬ニ乗セ運搬シアリタルガ其舉動甚ダ不審ノ点アリテ不正物件ノ運搬ナラントノ通告ヲ得タルヲ以テ本職ハ搜查ニ着手スルニ至リタリ

十月十六日午後十二時頃本職ハ花咲村ト猿嶋村トノ分岐点ノ道路ノ脇ナル密林ニ於テ監視シツ、アリシニ翌十七日午前三時頃三人ノ馬子ガ馬三頭ヲ連レ花咲村ノ方向ヨリ進ミ來リ右道路ノ分岐点ニ於テ馬子ノ一人ガ

聲ヲ發シ此ノ邊デ一服シヤウト謂ヒ出シタルニ『ヨシノ、』ト他ノ者ガ答ヒテ右分岐点ノ道路ノ東脇ノ小高キ土堤ノ處ニ三人ガ並ビテ休憩シ馬ハ手綱モ取ラズ其附近ニ離シ置キ三人ノ馬子ハ煙草ヲ喫シタリ

三人ノ内誰レナルヤハ明カナラザルモ其内ノ一人ノ者ガ他ノ二人ニ對シ謂フニハ『人ト會ハナイデヨカツタ』『ヤレヤレ安心安心』ト本職ハ彼等ヲ去ル僅カニ二間位ノ樹間ニ於テ其聲ヲ聞キ付ケタリ、否ヤ本職ハ直チニ樹間ヨリ現ハレ三人ノ馬子ニ對シ自分ハ森林官デアアルガ君等ガ運搬スルモノハ何カ夜間深更ニ運搬スルハ不思議ニ思フト話シタルニ彼等ノ内一人(阿部淺吉ナルコト後ニ判明シタリ)ハ曰ク、自分ハ或人ノ依頼ヲ受運ケ長杖ヲ運搬スル所ナリト答ヒタルヨリ然ラバ其依頼者ハ誰レデ何人ヘ搬スルヤヲ再問シタルニ依頼者ハ花咲村ノ佐々木龜松ナル者ニテ買人ハ猿嶋村柴田常吉ナリト答ヒタリ

本職ハ右三人ノ者ヨリ住所氏名ヲ聞クニ於テ花咲村阿部淺吉同村佐々木攻吉同村山崎與之助ナルコト判明シタリ取調ノ必要上三名ニ對シ本職ノ

詰所マデ直チニ出頭ヲ求メタルニ各承諾ノ上本職ト共ニ當保護區官舎ニ出頭シタルヲ以テ同所ニ於テ取調ニ着手スルニ至リタリ
著者ノ附記意見

一、事件ハ如何ニシテ發覺スルニ至リタリヤ之ヲ證明スベキ書類ヲ添付シ置クコトハ尤モ有用ノコト、信ズ何ントナレバ事件ニ對スル捜査ノ經路甚ダ明瞭トナリ事件上ニ理解ヲ與フルノ便宜アレバナリ然ルニ森林司法警察官ニヨリテ作成セラル、書類中ニハ如斯書面ノ存在アルコトナシ就モ捜査顛末書ト稱シテ記録中ニ添付アルモ所謂捜査ノ顛末ニシテ該書面中ニハ不用ノ記載多ク將來大ニ改善ヲ加フルノ要アリ余ノ意見ニヨレバ捜査顛末書ヲ廢シ之ニ代フルニ事件ノ發覺ヲ明カニシタル本書面ノ如キモノヲ添付スルヲ以テ却テ有益ナリト思考スルモノナリ

一、本書面ノ記載上ニハ捜査シタル一切ノ事項ヲ網羅スルコトヲ要セズ其秘密ニ亘ルモノハ之ヲ取除キ公開シテ差支ナキ事項ニ限り記載ヲ爲

スベキモノトス之レガ取捨按定ハ作成官ニ於テ極メテ考察ヲ加フルノ要アリトス

一、捜査顛末書ナルモノハ其主義ヨリ考フレバ森林司法警察官ガ如何ニシテ捜査シ其捜査ノ結果如何ナル證據ヲ發見スルニ至リタリヤヲ明カニシタルモノナル可シ換言スレバ捜査ノ手段方法及其手段方法ヨリ生ジタル結果トス然レモ其捜査ノ手段方法及其捜査上ノ結果ノ如キハ自ラ記録ノ上ニ現ハレ居ラザルベカラザル事ニシテ殊更ラニ此等ノ書面ヲ添フルヲ要ナシ若シ報告ヲ爲スベキモノトセバ捜査上ノ指揮權ヲ有スル當該檢事ニ報告スルニ止マリ進ンデ之ヲ一件記録ニ付シテ裁判所ニ提出セントスルガ如キハ書面自体ノ主義ニ反スルモノナリ

領置物件目録

阿部淺吉外二名森林違犯被告事件ニ付阿部淺吉外二名ヨリ任意提出ヲ爲シタルニ付之ヲ領置スルモノ也

大正九年十月十七日

於某所

森林主事 花 形 優 郎

左記

- 第一號 長 柵 壹 千 枚 阿部淺吉ヨリ領置
- 第二號 長 柵 三千五百枚 佐々木政吉ヨリ領置
- 第三號 長 柵 三千五百枚 山崎奥之助ヨリ領置

附記意見

一、原作領置物件目録ハ三通ニ作成シ各被告人ノ署名捺印アリタルモ領置目録ハ被領置人ノ署名捺印ヲ必要トスルモノニ非ラズ被領置人ヨリ請求アルトキハ其領置物件目録ノ謄本ヲ下付スレバ可ナリ又同日同一場所ニ於テ領置シタルトキハ壹通ノ書面ニ記載スルヲ以テ却テ簡便タルベシ

聽 取 書

明田縣未來郡花咲村百番地平民農

阿 部 淺 吉

右者大正九年十月十七日本職ニ對シ任意ニ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ是迄刑事上ノ處分ヲ受ケタコトアリマセン

二、官吏、公吏、議員デアリマセン

三、兵役ノ關係アリマセン

四、位記、勳章、年金、恩給等アリマセン

五、今朝午前三時頃私及山崎奥之助、佐々木政吉ト共ニ長榎運般中貴官

ニ御發見ニナツタニ相違アリマン

右長榎ハ居村佐々木龜松ノ依頼ヲ受ケ昨夜午後九時頃鈴木國五郎方ヨ

リ馬ニ積込ミ出發シ猿嶋村柴田常吉へ運搬スル途中デアリマシタ

右長榎ハ不正ノ物件デアルコトハ判然ト覺エマセン別ニ佐々木龜松ヨ

リ不正ノ物件デアルト謂フ話ヲ受ケタコトアリマセンガ去ル本月十四

日私ハ居村ニ於テ稻刈ヲシテ居ツタトキ龜松ハ其場所ヲ通り長榎ノ賣

却方ヲ私ニ依頼シタ際ニ『夜デナケレバ運搬スルコトノ出來ヌ品物デ

アル』ト謂ヒマシタ故多分怪シイ品物(怪シイトハ不正物件ナリトノ
意)デアルト思ヒマシタ

佐々木政吉ハ私ヨリ運搬方ヲ依頼シ山崎奥之助ハ佐々木政吉ガ頼ミ

テ運搬セシメタノデアリマス佐々木政吉へ私ハ去ル十五日午後四時頃

政吉方ニ至リ明夜運搬シテクレト頼ンダトキ政吉ハ怪シイ品物デナイ

カト私ニ尋ネタカラ怪シイ物デナイト答ヘマシタ山崎奥之助ハ私ヨリ

直接ニ何ニモ話致シマセン從テ右兩名ノ者共ハ不正物件タルコトヲ知

ツテ居ルカ否カハ私ハ判カリマセン

六、私ハ夜間デナケレバ運搬出來ヌト謂ハレタハデ怪シイ物ト氣付キナ

ガラ運搬シタノハ私ノ落度デアツテ今更申譯アリマセヌ

七、私ハ昨夜ヨリ今朝ニ掛ケ政吉、奥之助ト共ニ長榎運搬途中別ニ其長

榎ノコトニ關シ不正品デアルヤウナ言葉ヲ交換シタコトアリマセン

八、問：併シ本職ハ樹間ニ隠レテ聞イタガ其許等ガ道路ニ休息中『アイ

人ト行會ハナイデヨカツタ』云々『ヤレ』安心』ナド、其許等ガ話シ

テ居ツタデナイカ

答…私ナレバ左様ナ話ヲシタコトアリマセンシ又政吉、奥之助ヨリモ

左様ナ話ヲ聞イタコトアリマセン

九、問…夜深更デアツタ故明カニ其許等ノ話ヲ本職ニ於テ聞取リタルガ其許等ハ全ク知ラヌト謂フノカ

答…全ク知リマセヌ

一〇、私ハ長榎周旋ノ報酬トシテ何程ヲ貰受クルト云フ約束ハアリマセシガ併シ賣買セバ相當ノ謝禮ガアルダロウト思フテ居リマシタ唯運搬費用ハ千枚ニ付七十錢ト云フコトニ取極メマシタ普通相場ヨリハ三割位モ高イノデアリマスガ夜間運搬ノ爲メ高イノデアリマス誰レモ未ダ金モ受取リマセン

一一、私ノ運搬シタ長榎ハ一千枚政吉、奥之助ノ運搬シタノハ各三千五百枚デアリマシタ其駄賃ハ各自別々ニ受クルノデアリマス

一二、私ハ長榎ヲ運搬スルニ至ツタ由來ヲ申シマス、ソレハ去ル十月十

四日私ハ居村ノ自分ノ田地ニ於テ稻刈ヲシテ居ツタ際ニ佐々木龜松ガ私ノ前ヲ通り私ニ聲ヲ掛ケ已レニハ長榎八千枚モアルガ現在何程ノ相場デアアルカ猿島村へ參ツタ序手ニ聞イテ相當ト思フナラバ賣却方周施シテクレト謂フコトデアリマシタ故私ハ承諾致シ翌十五日私ハ猿島村へ行ク途中ニ同村ノ柴田當吉ト偶然出會ヒマシタカラ是レハ好都合ト思ヒ長榎ノ相場ヲ聞イタ處ガ實物ヲ見タ上デナケレバ分カラヌカラ先ヅ以テ實物ヲ持テ來イ其ノ上デ取極ムルト云フカラ私ハ常吉ノ謂フ處ニ從ヒ運搬スル考デアリマシタ何分八千枚ト云フ數デアアルカラ自分ノ外二人ノ馬子モ要スルコト、思ヒ同日歸途佐々木政吉方ニ立寄り同人ニ對シ明夜運搬スルモノガアルカラ前ノ外一人ノ馬子ヲ頼ミ私ノ家ニ來テ吳レト謂ヒマシタラ政吉ハヨシト謂ヒテ承知シ翌日午後六時暗ラニ政吉ト外一人ガ私方へ馬ヲ曳イテ參リ私ト三人佐々木龜松方へ參リマシタ處同人ノ謂フニハ現物ハ鈴木國五郎方ニアルトコト故國五郎方へ參リ同人方ヨリ長榎ヲ馬ニ載セテ運搬シタ途中貴官ニ

發見セラル、ニ至ツタ次第デアリマス長柎ヲ馬ニ積ム際國五郎モ自宅ヨリ長柎ヲ運ビ手傳ヲ致シマシタ

柴田常吉ヘハ不正品デアルコトハ更ラニ話シマセン

一三、私ハ右以外ニ佐々木龜松ヨリ長柎運搬方ヲ頼マレタ事アリマセン

陳述人 阿部 淺吉

右陳述ヲ録取シ讀ミ聞ケタル處相違ナキ旨申立署名捺印シタリ

大正九年十月十七日

於花咲小林區署美術保護區官舎

森林主事 花形 優郎

出張先ニ付所屬官署ノ印ヲ押捺スルコト能ハズ

著者ノ附記意見

一、原作聽取書ハ二通ノ聽取書アリテ第一回聽取書ハ簡單ノ記載第二回ハ詳細ニ記載シアルモ第一回聽取書ニ詳細記載シアラバ再度聽取ルノ必要ナク第一回ヲ以テ足レリニ非ラズヤ之レ本聽取書ハ一通ノ聽取書

ニ詳記シタル所以トス

二、原作聽取書ニハ『夜運搬スルモノ故怪シイ物ト思ヒマシタ』トアリテ進ンデ其怪シイ物ト知リツ、運搬シタル事情如何ニ就テハ記載セラレザルヲ以テ本聽取書第六項ニ記載シタルモ其事情不明ナルヲ以テ單ニ落度トシテ記載ヲ爲シタリ

三、被告ガ何故ニ不正物件ヲ運搬スルニ至リタリヤ乃チ被告ハ單ニ駄賃(運搬費用)ノミヲ目的トシタルモノニ非ラザルベクシテ賣買ニヨル利益ノ分配ヲ得ントシタルモノナル可ク想像セラル、モ原作聽取書ハ此点不明ナルヲ以テ本聽取書第十項ニ仮裝的ノ記載ヲ爲シタリ被告ガ犯罪ヲ行フニ至リタル理由如何換言スレバ犯罪ノ動機如何ハ極力審究シテ記載ヲ爲スベキコト、ス

四、原作捜査顛末書ニヨレバ被告等ガ運搬中『ア、人ニ會ハナイデヨカッタ』『ヤレ、安心安心』ト謂フコトヲ森林官ガ樹間ニ隠レ居リテ聽取シタリト記載シアルモ聽取書ニハ質問シテ記載セラレアラザルヲ以

テ本聽取書ニハ之ヲ記載シタリ是ハ事ハ被告ノ犯意ヲ知ル上ニ於テ尤モ必要ノコトナレバナリ證據ノ上ヨリ原作聽取書ヲ見レバ犯意アリヤ否ヤノ点ハ不充分タルコトヲ免レザルヲ以テ此点ヲ明カナラシムベキ材料ノ集取ヲ必要トス

聽取書

明田縣未來郡花咲村百一番地平民日雇

佐々木政吉

五十年

- 右者大正九年十月十七日本職ニ對シ任意左ノ陳述ヲ爲シタリ
- 一、是迄刑事上ノ處分ヲ受ケタコトアリマセン
- 二、官吏、公吏、議員デナク又兵役ノ關係モアリマセン
- 三、位記勳章年金恩給等モ所持シテ居リマセン
- 四、私ハ昨十六日午前三時頃長柁運搬中貴官ニ發見セラレタニ相違アリマセン

私ガ馬ニ積ンデ運搬シタ長柁ハ三千五百枚デアリマシテ十五日午後九時頃鈴木國五郎方ヨリ積込ミテ出發シタノデアリマシタ

私ガ運搬シタノハ阿部淺吉ヨリ依頼ヲ受ケタノデアリマシタ同人ガ去ル本月十五日午後五時頃私方ニ參リ明晩運搬スル物ガアルカラ私方ニ來テクレトノコトデアリマシタ其運搬スベキ品物ハ申サレナカツタガ夜運搬スルト云フカラ私ハ不審ヲ起シ怪シイ物デナイカト尋ネマシタ(怪シイトハ不正物件ノ意)淺吉ハ左様ナモノデナイト謂ヒマシタガ夜間運搬スルト云フカラ如何ニモ不審ヲ抱キ不正品ダロウト思フテ運搬シマシタ

不正品ト知リツ、運搬シタノハ自分ハ駄賃ヲ得ントシタ慾心カラ出タコトデ現在ハ大ニ悔悟シテ居リマス

五、私ハ長柁デアルコトハ鈴木國五郎方ニ至リ積込ムトキ迄覺ユマセンデシタ其運搬途中ニ右運搬シタル長柁ノ不正物件タルコトハ別ニ話合シタコトアリマセン

六、問…併シ其ノ許等ガ道路ニ休憩中本職ガ樹間ニ隠レテ聞キ居リタルガ「ア、人ト會ハナイデヨカツタ」ヤレ、安心安心ト話シタノデナイカ

答…左様ナコトハ話シマセン又他カラモ聞キマセン

七、長柁運搬ノ駄賃ハ千枚七十錢ノ約束デアリマシタ夜間運搬故普通相場ヨリハ三割モ高イノデアリマシタ未ダ一金モ受取リマセン

八、私ハ長柁運搬シタ次第ハ去ル本月ノ十五日午後五時頃阿部淺吉ガ私方へ來リ明十六日ノ夜駄賃ヲ付ケテクレ運搬スベキ物ハ多イカラオ前ハ更ラニ一人ノ馬子ヲ頼ミ二人ニテ來テクレトノコトデアリマシタ私ハ承諾シテ置キマシタ私ハ山崎與之助ヲ頼ミ十六日午後六時頃暮ラカラ與之助ト共ニ淺吉方へ參リ淺吉ト三人連レニテ佐々木龜松ト云フ家ニ參リタルモ同家ニハ運搬スルモノガナク鈴木國五郎方ニアルトノコトデアツタ故三人國五郎方へ參リ同人方デ長柁ヲ馬ニ積込ミ午後九時頃ニ同所出發スルニ至ツタ次第デアリマス

陳述人 佐々木 政吉

右陳述ヲ錄取シ讀ミ聞ケタル處相違ナキ旨申立署名捺印シタリ
大正九年十月十七日

於 某 所

森林主事 花 形 優 郎

著者ノ附記意見

一、原作聽取書ハ佐々木政吉ガ不正物件タルコトヲ認識シツ、運搬ヲ爲シタリヤニ付記述上不充分ノ嫌アリタルヲ以テ本聽取書第四項ニ於テ明瞭ナラシメタリ

二、本聽取書中證據トナル点ハ第四項ノミトス其他ノ各項ハ關係ヲ明カナラシメタルニ過ギズ

賊物運搬罪ニ對スル犯罪ノ構成要件ヲ案ズルニ賊物運搬ノ事實及其賊物タル情ヲ知り居リタル犯意ヲ必要トス而シテ其犯意ハ確定ノ犯意タルコトノミニ限ラズ所謂未必ノ犯意ニテモ可ナリトス本件聽取書ニヨ

レバ被告ガ賊物運搬ノ事實ハ明瞭ナレドモ被告ノ犯意如何ハ疑問トナル慮アリ即チ被告ハ阿部淺吉ニ對シ不正物件デナイカト質問シタルニ淺吉ハ左様ナモノデナイト答ヒタルヲ以テ此点ヨリ見レバ被告ニ犯意ナキニ非ラズヤヲ思ハシム然レモ犯意ナルモノハ他人ニ否定セラル、モ自己ガ之ヲ認識シ居ルヲ以テ足レリトス又其認識ハ必ズシモ充分ナル認識アルコトヲ必要トセズ多分ソレハ賊物タラント云フ疑問的意思ニテモ可ナリ賊物デナイカモ知レヌガ又賊物カモ知レヌト云フ意思ナリトセバ結局其意思ノ分量ニテ定ムルモノトス乃チ賊物デナイカモ知レヌガ多分賊物ナラント思フトキハ未必ノ犯意ヲ存ス賊物カ否カ明カデハナイガ多分贓物デナカロウト思惟セバ犯意欠缺トナル可シ原作聽取書ニ於テ『夜運搬スルカラ怪シイ物ト思ヒマシタ』ト斷定スル迄突キ止メ犯意ニ付一点ノ疑ヲ存ズル餘地ナキニ至ラシメタルハ大ナル成功トス

聽 取 書

明田縣未來郡花咲村百二番地平民農

山 崎 奥 之 助

二十八年

右之者大正九年十月十七日本職ニ對シ任意ニ左ノ陳述ヲ爲シタリ

- 一、是迄刑事上ノ處分ヲ受ケタコトアリマセン
- 二、官吏、公吏、議員デアリマセン
- 三、位記、勳章、年金、恩給等アリマセン
- 四、私ハ明治四十二年中輜重輸卒トシテ弘前輜重兵第八大隊ニ入營三ヶ月間軍隊教育ヲ受ケマシタ
- 五、本朝午前三時頃長証運搬途中貴官ニ發見セラレタノデアリマス
右長証ハ佐々木政吉ヨリ頼マレ運搬シタノデアリマス
運搬ニ着手シタノハ昨夜午後九時頃デアリマシタ鈴木國五郎方ヨリ長証參千五百枚ヲ馬ニ載セテ出發シマシタ
私ト共ニ佐々木政吉、阿部淺吉モ同ジク長証ヲ馬ニ積ミテ三人一緒ニ

出發シマシタ

六、右長証ハ不正物件デアルコトハ確カニ判カリマセヌ去ル十五日午後五時頃政吉ハ私方ニ來リ私ニ對シ明晩駄賃付ケル（駄賃トハ運搬行爲ノ事）ニ來テクレト謂ハレタガ夜間ノ駄賃ト云フコトデアルカラ不審ヲ起シソレハ怪シイ物（不正物件ノ意）デナイカト謂ヒタニ左様ノモノデナイト謂ハレマシタガ併シ夜駄賃ト云フカラ自分トシテハ是レハ不正ノ品物デアロウト思ヒマシタガ政吉ヘハ明晩行クコトヲ承諾シテヤリマシタソレデ十六日午後六時頃政吉方ヘ參リ同人ト打揃フテ阿部淺吉方ニ行キ同人ト三人連レデ佐々木龜松方ヘ參リマシタガ品物ハ同人方ニナイト謂フノデ更ラニ鈴木國五郎方ヘ參リ運搬スルニ至ツタ次第デアリマス

七、私ハ夜三時頃道路ニ休息中『ヤレ〜安心安心』又ハ『他人ニ見付ケラレナイデヨカッタ』ナド、話ヲ致シタ事モナク又話ヲ聞イタコトアリマセン

八、問…併シ本職ハ樹間ニ隠レ居ツテ其許等三人ニテ左様ナ話ヲ致シテ居タノヲ聞イタガ如何

答…何ント御尋ネアツテモソウイウヤウナ話ヲ致シタ覺エハアリマセン

右陳述ヲ録取シ讀聞ケタル處相違ナキ旨供述シタリ

供述人 山崎 奥之助

大正九年十月十七日

於花咲小林區署美術保護區官舎

森林主事 花形 優郎

出張先ニ付署印ヲ押捺セズ

著者ノ附記意見

一、原作聽取書中『怪シイ物ト思ヒマシタ』ト云フ文字ハ數ヶ所ニアルモ何故ニ怪シイ物ト思ヒタリヤ其理由判明ヲ欠ケリ夜運搬スルト云フカラ怪シイ物ト思ヒマシタトアレバ理由ガ立ツテ居ルケレモ何等理由及

事情ヲ語ラズシテ單ニ怪シイ物ト謂フガ如キハ甚ダ不了解ノ憾アリ故ニ本聽取書ニ於テハ凡テ此部分ヲ取除キ記載シタリ

第一回聽取書

明田縣未來郡花咲村百三番地平民下駄職

佐々木 龜 松

三十一年

右大正九年十月十七日本職ニ對シ任意ニ左ノ陳述ヲ爲シタリ

- 一、私ハ是迄刑事上ノ處分ヲ受フタコトアリマセン
- 二、位記、勳章、年金等モナク又官吏、公吏、議員デモアリマセン
- 三、私ハ一昨年以來癩病ニ罹リ目下姉ノ夫鈴木國五郎方ニ同居シテ下駄製造職ヲ致シテ居リマス
- 四、私ハ長楨八千枚ヲ阿部淺吉ニ依頼シテ運搬セシメタコトアリマス其始末ヲ申立マス
- 私ニハ自分デ製作シタ長楨八千枚ヲ持ツテ居リマシタガ自分ハ賣買シ

タ經驗ガナイノデ困マツテ居リマシタガ去ル十四日午後四時頃偶々某所ヲ通ツタトキ豫テ覺エテ居ル阿部淺吉ガ田甫ニ於テ稻刈ヲシテ居タカラ是レ幸ヒト思ヒ淺吉ニ對シ自分ハ長楨五千枚以上モ持ツテ居ルガ賣却方周施シテクレ價格ハ相當相場デ宜シイガ併シソレハ日中デハ運搬出來ヌモノデ夜間デナクテハ駄目ダト話シタ處政吉ハヨシ／＼自分ハ猿島村ニ行キ相場ヲ聞イテ賣却シテヤルト答ヒマシタ

私ハ日中デハ運搬出來ヌ夜間デナクテハ駄目ダト答ヒタノハ不正物件デアルト云フ暗示デアリマシタ淺吉モ無論其暗示ヲ吞ミ込ムダト思ヒマス

運賃ハ千枚ニ付七十錢平均デヤルシ賣却上ノ都合ヨケレバ更ラニ割増シテヤツテモヨイト話ヲシマシタガソレ以外別ニ報酬ヲヤルト云フ約束ハ致シマセンガ自分ノ心底トシテハ相場ガヨク賣ルレバ政吉ニ運搬以外相當ノ報酬ヲ與フル積リテ居リマシタ

五、然ルニ其翌々十六日午後八時頃淺吉ハ外二人ノ馬子ヲ連レテ(馬子

ノ名前ハ知リマセヌ)私方へ參リマシタガ長榎ハ凡テ鈴木國五郎方へ預ツテ置キマシタ故私同道シテ皆ガ國五郎方へ參リ同人方ニ於テ長榎ヲ馬ニ積込ミ出發シタノデアリマスソノ時刻ハ丁度午後ノ九時頃デアリマシタ

馬ニ積ムニハ私モ國五郎モ加勢ヲシテヤリマシタガ其時ハ長榎ハ怪シイ物デアルトカ何ウカト云フヤウナコトハ更ラニ話シマセヌ運賃等ノコトハ凡テ淺吉へ任カセテアリマシタ未ダ一金モ支拂ツテ居リマセン

六、其長榎ハ私ハ國有林ヨリ盜伐シタ木ニテ拵ヘタモノデアリマス其始末ヲ申シマス

私ハ御覽ノ通り癩病ニ罹リ生活ニ窮シテ居リマス故ニ惡心ヲ起シ惡シキコトハ知リツ、去ル本年八月二十三日私一人ニテ鋸ト鋏ヲ背負フテ東海岸國有林ニ立入リテ四尺廻ノ杉立木二本ヲ伐採シマシタ伐採探スルニハ携帶シタ鋸ト鋏ヲ用ヒ其伐採ニ着手シタノハ同日午後一時頃テ切り倒シタノハ午後二時頃デアリマシタ其場所ニハ多數ノ木ガアリ

マシタガ其木中ヨリ長榎ノ製作ニ適當ナルモノヲ撰伐シタノデアリマス根株ハ伐採ノ儘ニシテ置キマシタ

七、切り倒シタ以後其木ヲ同日ヨリ八月三十日迄ノ間ニ毎日國有林ニ立入り長榎材料ニ木取リシテ之ヲ背負フテ某民有林ニ運搬シ置キマシタソレヨリ九月一日ヨリ同廿七日迄時々國有林ニ入りテ長榎ヲ製作シ其數八千枚ニ達シマシタ長榎ヲ製作スルニハ私所有ノ鋸鋏ノ外鉋及鉋ヲ使用シマシタ其物件ハ自宅ニアリマシカラ提出シマス

國有林内ヨリ民有林ニ運搬シテ長榎ヲ製作シタノハ國有林デ仕事ヲスルトキハ他人ノ爲メニ發見サル、コトヲ恐レタカラデアリマス

八、右八千枚ノ長榎ハ九月二十七日私一人デ數回ニ背負ヒ鈴木國五郎方へ運搬シマシタ其時國五郎ガ居リマシタガ長榎ノ事ハ何ニモ聞キマセンシ又私ヨリ何ニモ話シマセンカラ國五郎ハ長榎ハ盜伐物件デアツタコトハ知ラナカツタト思ヒマス

陳述人 佐々木 龜松

右陳述ヲ録取シ讀ミ聞ケタル處相違ナキ旨申立署名シタリ

同日 於某場所

森林主事 花形優郎

出張先ニ付キ所屬官署ノ印ヲ押捺セズ

著者ノ附記意見

一、原作聽取書ニヨレバ阿部淺吉ニ對シテハ運搬賃ヲ支拂フ外別ニ報酬ヲ與フル約束ナカリシ如ク記載シアルモ常識ヨリ考フレバ阿部淺吉ハ單ニ少額ノ運賃位ヲ得ンガ爲メニノミ周旋盡力シタリトハ認メ難ク將來利益ノ分配ニ與カラントスル意思アルコトハ推察スルニ難カラズ從テ此点ハ龜松ニ對シ充分取調ブベキモノトス而シテ明示的ニ報酬供與ノ約束ナカリシトスルモ被告龜松ノ心底如何ハ之ヲ究メテ記載スベキモノトス一面ヨリ考フレバ是レハ淺吉ガ犯罪ヲ敢行セントスルニ至リタル最大原因ナリト思料スレバナリ故ニ本聽取書ニハ此点ヲ仮裝シテ記載シタリ

一、原作聽取書ニハ被告龜松ハ國有林ニテ盜伐シ民有林ニ運搬シテ長柱ヲ製作シタルモノナルガ特ニ其場所ヲ移動シテ製作シタル理由如何ハ犯罪ノ情狀ニ關スルコトナルヲ以テ本聽取書ニハ其点ヲ仮裝シテ記載シタリ

一、原作聽取書ハ鈴木國五郎ハ賊物タル事實ヲ知ラズシテ寄託シ置キタリト謂フモ被告龜松ハ國五郎方ニ寄寓シ朝夕談話ヲ交換シ居リナガラ賊物タル事實ヲ知ラザル理由ナシト思ハル此点ニ關スル搜查甚ダ不充分ナルコトヲ免レズ

領置目錄

- 第四號 鋸 壹枚
- 第五號 鋏 壹挺
- 第六號 鉈 壹挺
- 第七號 鉋 壹挺

右ハ佐々木龜松森林竊盜被告事件ニ付同人ヨリ任意提出ニ付領置スルモ

ノナリ

大正九年十月十七日

於明田縣未來郡花咲村鈴木國五郎家宅

花咲小林區署美術保護區官舎

森林主事 花 形 優 郎

出張先ニ付所屬官署ノ印ヲ押捺スルコト能ハズ

聽 取 書

明田縣未來郡花咲村百六十九番地

平民下駄職 鈴 木 國 五 郎

四十年

右大正九年十月十七日本職ニ對シ任意左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ是迄刑事上ノ處分ヲ受ケタコトアリマセン

二、官吏、公吏、議員デモナク又位記、勳章、年金、恩給等アリマセン

三、佐々木龜松ハ癩病ニ罹リ一昨年中カラ私方ニ同居シテ居リマス

四、右龜松ハ國有林ヨリ木ヲ盜伐シタコトハ更ニ知リマン

五、同人ガ長柁ヲ私宅ヘ運搬シタコトハ承知致シテ居リマシタ其運搬シ

タノハ本年九月二十七日頃ト思ヒマス其物件ハ盜伐木デ拵ヘタモノデア
アルコトハ更ラニ知リマセン

龜松ハ何レヨリ出シタカ龜松ヘモ尋ネズ又龜松ヨリ何ントモ申サレマ
セン

六、其長柁ハ十月十七日ニ名前ノ知ラナイ三人ノ者ガ來リテ馬ニ載セテ
運搬シテ行キマシタソレハ何故ニ運搬シテ行ツタカ私ハ更ラニ判カリ
マセン

原作聽取書ニハ賊物タル情ヲ知リ居ル如ク申立テ居ルモ其情ヲ知リ
タル理由更ラニ不明ナルヲ以テ本聽取書ハ知ラザル如クニシテ記載
セリ

私ハ彼等ハ運搬スルトキニ二三束ヲ持ツ參リテ馬ニ積ミ手傳ヲシ
マシタガソレハ同情シテ手傳ヲシタノミデ品物ハ正當ノモノト信ジテ

居リマシタ

右陳述ヲ錄取シ讀ミ聞ケタル處相違ナキ旨申立タリ

陳述人 鈴木國五郎

大正九年十月十七日

於樺太西海岸一ノ又國有林

花咲小林區署

森林主事 花形優郎

出張先ニ付所屬官署ノ印ヲ押捺セズ

著者ノ附記意見

一、原作第一回聽取書ハ極メテ要領ヲ得ザルノ感アリ乃チ第八項ニ於テ『此時始メテ龜松ガ盜伐シテ居ルコトヲ知リマシタ』云々トアルガソレハ如何ナル機會デ知リタリヤ更ラニ記載セラル、處ナシ作者ノ意ヨリスレバ前項記載セル『私モ手傳ヲシタランブヲ持チテ仕事ヲスルニ便利ナラシメタ』トアルヲ以テ之レデ始メテ盜伐タルコトヲ知ツタト云

フ意味ナリトセバ更ラニ道理ニ合ハヌコトナリ他人ノ行爲ニ手傳ヲシタトテ不正品タルコトヲ知ルベキ謂ハレアルコトナカルベク又ランブヲ以テ手傳ヲシタトテ贓物タルコト判カルベキ理由ナキニ非ラズヤ要スル處甚ダ不徹底ノ記載タルコトヲ免レザルヲ以テ本聽取書ハ贓物タル事實ヲ知ラザル如ク記載シ其知リ得タル事實ヲ第二回聽取書ニ讓リタル所以トス

價格證明書

佐々木龜松外四名森林竊盜被告事件ニ付領置シタル長桎八千枚ノ價格ハ大正九年十月十七日市場價格ニヨレバ一千枚ニ付五圓ナルヲ以テ總額四十圓ナリトス

大正十年十月二十日

於花咲小林區署

森林主事 花形優郎

著者ノ附記意見

一、價格ノ算定日ヲ大正九年十月十七日トシタルハ同日賊物ノ運搬行為ヲナシタルヲ以テ刑罰適用上ノ賊額ハ犯罪行為ノ日乃チ同日ニ依ルベキモノト認メ前記日付ニヨリタルモノナリ

一、原作聽取書ニハ價格ニ關シ何等ノ記載ナカリシ爲メ公判ニ於テ其價格ヲ被告人共ニ訊問シテ確カメタルモ正確ナル調査トシテハ森林官自ラ市場價格ヲ取調べテ記載ヲ爲スベキモノトス是レ本書面ヲ作成シテ添付シタル所以トス

犯 所 實 見 書

佐々木龜松森林盜被告事件ニ付大正九年十二月十一日被告龜松立會犯所ニ臨ミ實況見分スルコト左ノ如シ

一、實況ヲ見分シタル場所ハ樺太東海岸東國有林内ニシテ東部落ヲ去ルコト西方約三十丁位トス
現場ハ一面鬱蒼タル森林ニシテ無數ノ杉立木成立シ周圍モ悉ク森林ニ接セリ

二、被害木ハ二本ニシテ現場ニハ二個ノ杉伐根存在セリ断面ノ直徑第一號ハ一尺五寸位第二號ハ一尺八寸アリ各鋸及鉞ヲ以テ切斷セラレタル形跡ヲ存セリ

右伐根附近ニハ末木數本及多數ノ木片殘存シ其現場ノ狀況ヨリ見レバ犯人ハ現場ニ於テ伐木後丸太ニ造材シソレヨリ長柱材料ヲ木取シテ運搬シタルモノト認メラル末木及木片ハ其用ヲ爲サザル爲メ現場ニ遺棄セラレタルモノト認メラル

三、第一號木ト第二號木トハ約十間ヲ隔テ多數ノ杉立木中特ニ長柱製造ニ適スル木ヲ選伐シタルモノト認メラル

通路ノ關係ヲ見ルニ被害木ハ山路ヨリ約十丁位ヲ隔テ居リ山路ヲ通行スルモ容易ニ發見セラル、處ニ非ラズ其山路ニ接シテ多數ノ良木アルニ拘ハラズ特ニ山路ニ遠カリ運搬上ニモ不便ノ處ヲ撰ビタルハ其發見ヲ避クルノ手段ナリト觀測セラル

四、根株ハ伐採セラレタル儘ニシテ毀損等加エラレタルコトナシ

五、犯罪ノ時期ハ断面ノ模様現場ニ存ズル枝條木葉及木片ノ上ヨリ觀察
スルハ本年八月中旬頃ノモノト認定セラレ

立會人佐々木龜松ニ對シ其許ノ伐採シタル伐根ハ如何ト問ヒタルニ同人
ハ第一號本第二號木ヲ指示シテ此木ニ相違ナシト申立尙其附近ニ存在ス
ル木片ヲ指示シテ是レハ長柱木取ヲ造ル際ノ殘片ナリト申立タリ

五、此實況見分ハ大正九年十二月十一日正午十二時ニ始メ午後二時ニ了
ル

以上立會人ノ供述ニ係カル部分ハ之ヲ立會人ニ讀ミ聞ケタルニ相違ナキ
旨申立タリ

立會人 佐々木 龜松

自ラ署名捺印ス

同日 於實況見分ノ場所

花咲小林區署美術保護區官舎詰

森林主事 花 形 優 郎

出張先ニ付所屬官署ノ印ヲ押捺セズ

著者ノ附記意見

一、本實況見分書ハ著者ガ森林司法警察事務研究書第四卷ニ發表シタル
意見ニ從ヒ作成シタルモノトス從テ其趣旨ニ對シテハ説明ヲ略セリ
但原作犯所實見書ハ餘リニ簡單ナリシヲ以テ事實ヲ仮裝シテ本實見
書ニ記載シタリ

被害物件調査書

調査 番號	樹種	本數	胸高 直徑	全長	材積	單價	總價	備考
一	杉	一	一五尺	十間	五石	二圓	十圓	
二	同	一	一八尺	十間	七石	二圓	十四圓	
計		二		二十間		四圓	廿四圓	

右之通りニ候也

大正九年十二月十二日

於花咲小林區署

森林主事

花

形

優

郎

第二回聽取書

鈴木國五郎

右大正九年十二月二十三日本職ニ對シ任意左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ前回佐々木龜松ガ私宅ニ運搬シタ長楳ハ盜伐木ニテ作ツタモノ
デナイコトヲ陳述シマシタガソレハ間違ヒデアリマシタ實ハ龜松ガ盜
伐木デ拵エタモノデアリマス其事ハ去ル九月二十七日龜松ガ其長楳ヲ
私方ヘ運搬シタ際ニ私ニ對シ此物件ハ官山デ盜伐シタ木ヨリ作ツタモ
ノダト耳語シマシタソレデ私ハ始メテ盜品ダト云フコトヲ知ツタノデ
アリマス其以前ヨリ龜松ガ盜伐シテ居ツタコトハ更ラニ知リマセン前
回ハ自分ノ犯罪ヲ虞レ虚偽ノ陳述ヲ致シマシタ

陳述人 鈴木國五郎

右陳述ヲ錄取シ讀ミ聞ケタル處相違ナキ旨申立署名シタリ

大正九年十月二十三日

或ル場所ニ於テ

森林主事

花

形

優

郎

著者ノ附記意見

一、原作聽取書ニハ第一回ノ取調ニ際シ國五郎ハ犯罪事實ヲ自白シタル
如ク記載シアルモ其自白ノ理由明瞭ナラザリシヲ以テ犯罪ヲ否定シ置
キ茲ニ始メテ自白ヲ爲シタルモノトシテ記載シタリ

一、第二回聽取書ニ於テ第一回聽取書ノ事實ヲ變更シタルトキハ其變更
シタル理由ヲ掲グ可キモノトス然ラザル限り其者ハ何故ニ變更ヲ爲シ
タルカ其理由不明タレバナリ捜査ハ勉メテ公明ナラシメタルコトヲ知
ラシムルヲ要ス

第二回聽取書

佐々木 龜松

右大正九年十二月二十三日日本職ニ對シ任意左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、問：先日其許ハ鈴木國五郎へ長楳八千枚ヲ預リタル際其長楳ハ賊物

デアルト云フコトヲ話サヌト申立居ルガソレハ眞實ノ事カ

答：恐入リマシタ實ハ九月二十七日國五郎方へ長楳ヲ運搬シタトキ國

五郎ニ對シ之レハ官山デ盜伐シタ木カラ拵エタモノダト云フコトヲ

國五郎話シマシタソレデ國五郎ハ不正ノ物件デアルコトヲ知ツタト

思ヒマス

二、問：前回何故ニ偽リノ陳述ヲ爲シタルカ

答：國五郎ハ不正品タルコトヲ知リテ預ツタトスレバ處分ヲ受クルコ

トアルト思ヒ偽リノ陳述ヲ致シタノデアリマス

右陳述ヲ錄取シ讀ミ聞ケタル處相違ナキ旨申立タリ

供述人 佐々木 龜松

大正九年十二月二十三日

於花咲小林區署

森林主事 花 形 優 郎

著者ノ附記意見

一、本聽取書ノ事實ハ原作聽取書ニハ之レナカリシモ著者ガ特ニ仮裝シテ記載シタリ第二回聽取書作成上ニ關シ特ニ注意スベキ点ヲ舉示スレバ

(イ) 第一回聽取書ニ住所身分職業等ヲ掲ゲタルトキハ第二回聽取書ニハ單ニ氏名ノミヲ掲載スルヲ以テ足レリ原作第二回聽取書ニハ一々住所身分職業等ヲ再録シアルモ是レハ空文字ナリ

(ロ) 第二回聽取書ニ於テ第一回聽取書ノ供述ヲ變更シタルトキハ其供述ノ變更シタル理由ヲ聽取シテ記載スベキモノトス

三、本來聽取書トシテハ訊問体ヲ用キルモノニ非ラズ之レ法律上ノ訊問調書ト同一視セラレ事實又訊問調書ト何等差異ナキコト、ナレバナリ故ニ大審院判例ガ訊問的ニ成ル聽取書ヲ以テ最初無効ト宣言セラレタ

ルモ後其趣意ヲ變更シ訊問体トナスモ強制的ノモノト認メラレザル以上及捜査上ノ聽取書ト雖モ其不明瞭ノ点ニ對シ質問應答ヲ重タルコトハ何等差支アルモノニ非ラズトノ理由ニヨリ前判例ヲ翻ガヘシタリ然レモ聽取書ハ主義トシテ陳述体ヲ取り訊問的ニ亘ラザルヲ可トスルモ本聽取書ノ如キ場合ニ於テハ直チニ質問ニ移リタルヲ以テ問答ノ形式ニヨルヲ以テ相當ト認メタル所以トス

聽 取 書

秋田縣未來郡猿嶋村猿嶋千百十番地

平民農 柴 田 常 吉

三十一年

右者大正九年十二月二十三日本職ニ對シ任意ニ左ノ陳述ヲ爲シタリ

- 一、私ハ是迄刑事上ノ處分ヲ受ケタコトアリマセン
- 二、阿部淺吉トハ親屬、雇人、後見人、同居人等ノ關係アリマセン
- 三、私ハ阿部淺吉ヨリ長榎澤山持ツテ居ル者アルガ周旋シテヤルカラ買

ハヌカト申サレタコトアリマシタカラ品物ヲ見テ良ケレバ買フテ宜シイト答ヒマシタ處淺吉ハ千枚何程ノ値段デアルカトノコトデアリマシタガ値段ハ品物ヲ見タ上デナケレバ分カラヌト答ヘマシタニ淺吉ハ兎モ角現物ヲ持ツテ來ルト謂ヒテ別レマシタ、ソレハ本年十月十五日淺吉ハ私ト花咲村々端レノ道路ニ於テ會フタトキノ話デアリマシタ何日頃持テ來ルト云フ話ハアリマセン

四、私ハ自分ノ家屋修繕ノ爲メ長榎必要デアツタノデ買フコトニ思立ツタノデアリマス私ノ入用分ハ三四千枚程デアリマシタ淺吉ハ私ニ對シ約五千枚以上ノ長榎アルト謂ヒマシタガソレヲ全部私ニ持ツテ來ルト申シマセン單ニ持ツテ來ルト謂ヒタダケデアリマスガ其後何日經テモ淺吉ハ持ツテ參リマセン

淺吉ハ若シ五千枚以上ヲ以テ來ルトキハ自分ハ全部買受ケ餘分ノ處ハ知人へ相當代價デ分ケテヤル積リデ居リマシタ

五、私ハ淺吉カラ買受ケントシタ長榎ハ別ニ不正ノ品物デアルコトハ知

リマセン此ノ事ニ就テハ淺吉カラ何等ノ話ヲ受ケタコトアリマセン夜
間運搬スルモノデアルト云フヤウナコトハ一言モ申サレタコトアリマ
セン

六、淺吉ハ駄賃業デ私モ數年以前ニ駄賃業ヲシタコトアリマシタノデソ
レデ淺吉ト知合ニナツテ居ルノデアリマスガ格段懇意ト云フ間柄デア
リマセン

右陳述ヲ錄取シ讀ミ聞ケタル處相違ナキ旨申立タリ

柴田常吉

大正九年十二月二十三日

於花咲小林區署美術保護區官舎

森林主事 花形優郎

出張先ニ付所屬官署ノ印ヲ押捺スルコト能ハズ

著者ノ附記意見

一、本聽取書ハ原作一件記録中ニハ之レナカリシモ事件ノ始末ヲ明カナ

ラシムル上ニ於テ本人ノ供述ヲ徴シ置クコト必要トス且ツ本人ハ賊物
タル情ヲ知り居ルモノナリヤ否ヤ此点モ明カナラシムル必要アルヲ以
テ本聽取書ヲ作成スルニ至リタル所以トス

二、賊物故買罪ハ現實ニ物ノ引渡ヲ必要トセズ其情ヲ知リテ賣買契約ヲ
爲シモ成立スルモノトス之レ判例ニヨリテ指定セラル、處トス

性 行 調 書

秋田縣未來郡花咲村百二番地平民

下駄打職 佐々木龜松

三十二年

右性行ヲ調査スルニ左記ノ通りニ有之候也

大正十年二月一日 花咲小林區署

森林主事 花形優郎

一、經 歴

佐々木龜松ハ十五歳ノ時ヨリ居村土田萬助方へ若勢奉公ヲ致シ二十八

歳ノ時ヨリ癩病ニ罹リ若勢奉公ヲ罷メ從來親族ナル鈴木國五郎方ニ同居シテ下駄打職ニ従事セルモノナリ

二、教育ノ程度

居村高等二學年修業ノ後約一年間教員準備場ニ入り普通教育ヲ受ケタル際秋田市神澤義諒ニ付キ約六ヶ月間モ漢文學ヲ修業シタリト謂フ

三、性質及行狀

性質ハ狡猾ニシテ横着ナリ部落民某(姓名ハ特ニ記セズ必要ニ應ジ現ハシニ差支ナシ)ノ談話ニヨレバ本人ハ土田方ニ若勢奉公中其勞働ヲ欲セズシテ窃カニ村落ノ駄菓子屋或ハ小酒屋ニ立寄りテ遊戲ニ耽ケ仕事ヲ怠リナガラ自分ト共ニ若勢奉公シ居ル平田一助、工藤祐藏ニ對シ甘言以テ籠絡シ主人ヘ對シテハ仕業ニ勤勉ナル如ク吹聴セシメ大ニ主人ノ信用ヲ得タリシモ其事端ナク發見シ痛ク主人ノ叱責ヲ受ケソレヨリ漸次信用ヲ落セリト云フ

又被告ハ色情ニ富ミテ素行修マラス部落中ノ婦女ニシテ本人ト關係セ

ルモノ二三人ニ止マラス居村加藤エンノ如キハ被告ノ種ヲ宿トシ一男兒ヲ出生スルニ至リタルガ其子ハ直チニ死亡セリト謂フ被告ハ右エンヲ妻トスベキ約束ノ下ニ通ジタルニ不拘後チ其約束ヲ破リ『エン』ヲシテ悲嘆ニ泣カシメタリト謂フ被告ハ癩病後エンニ同情ヲ求メタルモエンノ爲メ排斥セラレタリ

四、職業ノ有無及勉否

本人ハ目下下駄打職ヲ爲シ辛ウジテ生活ヲ維持セル結果職業ニハ精ヲ出シ居ルト謂フガ病氣ノ爲メ充分ノ勞働ヲ爲スコト能ハズ

五、家族及生活ノ狀況

家族トシテ何人モナシ本人ハ鈴木國五郎方ニ同居シ辛ウジテ生計ヲ營ミ居レリ

六、本人ニ對スル世評信用ノ深淺

世評ニヨレバ本人ハ鈴木國五郎ト共同シテ國有林内ヨリ盜伐シ居ルト謂フモ是レハ確實ナル證據ヲ得ザルモノナリ

七、交際人物

交際スルモノトシテ目下一人モ之レアラズ癩病ノ爲メ一般ニ排斥セラレ居ルモノナリ

八、資産収入ノ狀況

本人ハ無財産ナリ収入ハ下駄打ニテ一ヶ月二十圓内外ナリト謂フ

九、參考事項

別ニ掲記スベキ点ナキモ被告ハ癩病後痛ク悲感シ居リ山形縣生味温泉ニ湯治ニ行カントシテ常々人ニ話シ居ルト謂フガ今回ノ犯行ハ或ハ其費用ヲ得ンガ爲メナリト謂フモノアルモ正確ナル事實トモ認め難シ以上

著者ノ附記意見

一、原作性行調査中記載ナキニ拘ハラズ著者ハ事實ヲ仮装シテ記載シタル点少ナカラズ是レ性行調査ノ書例ヲ示シタルモノナリ性行調査ハ可及的具体的事實ヲ捜査シテ記載スベキモノト抽象的ニテハ到底其信

用ヲ得ルニ由ナシ乃チ一例ヲ掲グレバ性質ヲ狡猾且ツ横着ナリト断定シタル以上ハ其狡猾ニシテ横着ナリシ事例ヲ掲載スベキモノト然ラザル限り狡猾且ツ横着ナリト斷ジタルハ果シテ正確ノモノナリヤ否ヤ不明瞭タレバナリ

性行調査書

被告人 阿部 淺吉

三十八年

右性行ヲ調査スルニ左記ノ通りニ有之候也

大正十年二月一日

於花咲小林區署

一、經歷

森林主事 某

本人ハ從來農業及駄賃業ニ從事シタル外特記スベキ事ナシ
二、教育ノ程度

居村高等小學校二年ヲ卒業ス

三、性質及行狀

性狡猾ニシテ行狀甚ダ不良ナリ其事例トシテ部落民ノ風評ニヨレバ本人ハ隣村部落ノ者ト氣脈ヲ通ジ他人ガ森林ヨリ窃取シタル物件ヲ運搬シテ利益ヲ占メ居ルト謂フ

四、職業ノ有無及勉否

農業ニシテ他人ノ田地ヲ耕作シ及日雇ヲ兼業トシ勤勉ノ方ナリ

五、家庭及生活ノ狀況

淺吉夫婦ト外ニ八歳ヲ頭ニ三人ノ子女アリ一家親睦ナレモ生活ハ困難ナリ

六、本人ニ對スル世評及信用深淺

世評ハ第三項ニ掲載スル通り信用更ラニナシ

七、交際人物

居村ニ於テ盜犯ノ惡評アル佐々木政吉、佐々木龜松、柴田常吉等ナリ

八、財産収入ノ狀況

宅地三畝歩住家一棟及動産ヲ合セテ見積價格五百餘圓収入ハ農業及兼業タル駄賃業ヲ合セテ年収六百圓位トス

九、參考事項

ナシ

著者ノ附記意見

一、原作性行調書ハ同一ノ事ヲ重複ニ記載シ緊張ヲ欠ケル感アリ本調書ハ凡テ簡潔ニ記載ヲ爲シタリ對照セラル、トキハ自ラ明瞭トナル可シ
一、佐々木政吉、山崎與之助、鈴木國五郎ノ各性行調書ハ著者ノ作成ヲ省略シタリ是レ以上掲載スル性行調書ニ著者ノ作例ヲ示シタルヲ以テ重ネテ記載スルノ要ナシト認メタリ

第一一 執務管見録

本研究録ハ著者ガ森林司法警察事務ニ對シ平素抱懷セル意見ヲ表示スル爲メ之ヲ記録シタルモノナリ本研究書ニ積載セル(イ)森林官作成一件記録

著者ノ意見ヲ具体的ニ示ス上ニ於テ便益ナリシヲ以テ偶々之ヲ援用スルニ至リタル所以トス

一、自ラ其書類ノ作成者ハ自ラ其書類ノ判断者タレ

凡ソ書類ヲ作成スル者ハ自ラ作りタル書類ノ價值ヲ知ルコトヲ要ス乃チ第三者ハ已レノ作成シタル書類ニ對シ如何ナル觀念見地ノ下ニ讀マル、ヤ進ンデ其書類ハ如何ニ効力ヲ發揮スベキヤノコト是レナリトス之ヲ犯罪搜查ニ關シ作成シタル書類ニ例セバ其書類中何レノ部分ハ犯罪ヲ證明スルニ足ルベキ證據力ヲ有スルヤノ如キヲ謂フ此ノ見地ナクシテ作成シタル書類ハ果シテ完全ナリヤ否ヤ疑ナキ能ハズ試ミニ判断者ノ立場ニヨリテ本卷ノ一件記録ニ付キ其證據力アル部分ヲ摘示スレバ阿部淺吉聽取書記載第五項中『長榎運搬シタル事實』ト『夜デナケレバ運搬スルコトハ出來ヌ品物デアルト謂ヒマシタ故多分怪シイ物デアルト思ヒマシタトノ點佐々木政吉聽取書第四項中『長榎運搬ノ事實』ト『夜間運搬スルト謂フカラ如何ニモ不審ヲ抱キ不正品ダロウト思ヒマシタ』トノ點山崎奥之

助聽取書中第六項『長榎運搬ノ事實』ト『併シ夜駄賃ト謂フカラ自分トシテハ是レハ不正品ダロウト思ヒマシタ』トノ記載佐々木龜松聽取書中第六項記載『盜伐自白ノ事實』及『阿部淺吉、佐々木政吉、山崎奥之助へ運搬ヲ依頼シタ部分』及犯所實見書中『盜伐伐根ニ對スル記載事實』鈴木國五郎第二回聽取書中第一項『去ル九月廿七日龜松ガ其長榎ヲ私方へ運搬シタ際私ニ對シ此物件ハ官山デ盜伐シタ木ヨリ作ツタト耳語シタ』トノ記載事實及領置シタル長榎八千枚等ハ被告人等ノ犯罪構成要件ニ屬スル事實ヲ確認スルニ足ルベキ證據ト見ルコトヲ得ベシ其他ノ記載部分ハ何レモ長文字ニ亘レルモ要スル處ハ犯罪ノ情狀又ハ犯罪ノ經路ヲ表ハシタル記載ニ止マリ依リテ以テ本件ノ死命ヲ制シタルモノニ非ラズ以上著者ノ見解ハ其當レリヤ否ヤハ知ラズト雖モ作成官ハ自ラ作成シタル書類ニ對シ常ニ第三者ノ地位ニ立ツテ判断スルコトヲ忘ルベカラズ如斯シテ始メテ書類ノ充實ト完全トヲ保チ得ベシ

二、事件ノ中心ヲ見落ス勿レ

茲ニ事件ノ中心ト稱スルハ事件ハ如何ナル原因事情ノ下ニ發生スルニ至リタリヤノコトヲ謂フ犯罪者ヨリ見レバ犯罪ノ目的是レナリ(犯罪構成要件タル事實ニ非ラズ)トス此見地ヨリシテ本研究書第五卷ヲ讀ムニ阿部淺吉ハ如何ナル事情ヨリシテ本件ノ犯罪ヲ行ハントスルニ至リタリヤ乃チ彼ハ書類ニ現ハレタルガ如キ運送賃ヲ得ントシタルニ過ギザルヤ予ヲ以テ見レバ彼レハ佐々木龜松ノ話ニ應ジテ自ラ贓物ニ對スル賣買周旋ヲ爲シ進ンデ運搬行爲迄モナシタルコトヨリ見レバ單ニ運送賃ノミ獲得セントノ目的ノミニハ非ラズシテ贓物賣却上ニ關スル利益ノ分配ヲ企テタルニアラザルナキカ淺吉及龜松ノ聽取書中ニハ此点別ニ記載スル處ナキモ之レ取調官ハ觀察ノ此ノ方面迄及バザリシ結果ニ非ラズヤ又佐々木龜松ガ盜伐行爲ヲナスニ至リタルハ全ク彼ノ主張スルガ如キ病氣療養費ヲ得ントシタルニ依ルヤ予ヲ以テ見レバソノ事容易ニ信ズベカラズ彼レハ先ヅ盜伐第一戰ヲ試ミ其結果ニ於テ良好ナリトセバ將來進ンデ犯罪ヲ繼續行セントノ意圖計畫ニ非ラザリシヤ甚ダ疑ナキ能ハズ要スルニ取

調官ハ餘リニ其者ノ謂フ處ニ信用ヲ置クコトナク常識ニ訴ヘテ其供述ヲ判斷シ其腑ニ落ちザル處アリト思料シタルトキハ充分眞意ヲ確カメテ極力其眞想ヲ得ンコトニ努力ヲ要スベキモノトス

三、記録初頭ノ記載ニ就テ

森林司法警察官作或聽取書ノ初頭ヲ見ルニ『森林竊盜嫌疑被告事件ニ付大正年月日某場所ニ出頭シテ任意左ノ陳述ヲ爲シタリ』トノ記載ヲ掲ダアレモ現今普通慣例ノ書式ヲ見ルニ『右者大正何年何月何日本職ニ對シ任意左ノ陳述ヲ爲シタリ』ト記載シアルニ過ギズ此書例ニヨリテ作成セラレタル聽取書モ毫モ違法トシテ攻撃セラレタルコトナシ試ミニ其要約シタル理由ヲ按ズルニ

一、森林竊盜嫌疑云々ト云フガ如キ件名ヲ記載セザリシハ捜査中ハ犯罪ノ成否未定ナルヲ以テ殆ンド罪名ヲ付スルコト困難ナリ仮リニ之ヲ付スルモ正確ノモノニ非ラズ且ツ捜査ノ爲メ人ヲ聽取ルハ豫審又ハ公判ト異ナリ任意ニ陳述ヲ求ムルモノニシテ所謂對談ニ過ギザレバ却テ罪

名ヲ付セザルヲ以テ相手方ノ自由意思ヲ束縛スルコトナカルベシ

二、出頭シタル場所ヲ掲ゲザリシハ書類ノ最後ニ『某場所ニ於テ』ト記載スルヲ以テ其記載ハ出頭ノ場所ト書面記載ノ場所トヲ兼用シタルモノナレバ冒頭ニ記載ノ用ナシトシタルモノナラン

森林司法警察官モ右繁雜ナル方式ヲ廢シテ一般的ノ書式ニヨルヲ可トセズヤ

四、犯罪ノ情狀ニ關スル記事ヲ閑却スル勿レ

森林法ノ刑罰ハ一般ノ刑罰法ニ比シ極メテ峻嚴ニシテ一般ノ刑罰法ニテハ敢テ刑罰ヲ加エザル事項ニ對シ森林法ニテハ刑罰ヲ加フルモノ尠ナカラズ乃チ森林法ハ其主義ヨリ觀察スレバ犯罪ノ手段方法又ハ犯罪後ノ處分ニ對シテモ極メテ重視スルノ感アルヲ以テタトヒ森林法ニ於テ刑罰制裁ヲ加エザル事項ト雖モ森林法ノ主義ヨリ見テ犯罪ノ情狀ニ影響アルモノト認メ得ベキ行爲ハ勉メテ記載スベキモノトス試ミニ左ニ二三ヲ掲グレバ

一、犯人ガ犯罪發覺ヲ豫防センガ爲メニ施シタル計畫手段方法例之犯人ガ其發覺ヲ避クル爲メ山路險惡ニシテ容易ニ人ノ往來セザル地ヲ撰ビテ竊取シタルガ如キ場合又ハ盜伐行爲ノ實施地ハ山路ヨリ著シク懸絶シ居ルカ又鬱蒼タル山林中ニシテ容易ニ人ノ限界ニ觸レザリ個所タルガ如キ場合ハ此等ノ狀況ヲ記錄ニ記載スベキ事

二、被告ハ森林竊盜ヲ爲シタリトセバ其贓物ヲ將來如何ニスル考ナリシヤ其事詳細

三、森林竊盜犯者ガ犯罪後贓物ノ隱匿ヲ爲シ居ラザリシヤ否ヤ

四、被告ガ贓品ヲ賣却シテ其實却代金ヲ得タルトキハ其代金ヲ更ラニ如何ニ使用シタリヤ

五、犯罪ノ動機如何此事ハ被告ガ取調官ノ同情ヲ得ンガ爲メ詭辯ヲ弄スルコトアルヲ以テ充分應答ヲ重ネ其真意ヲ確カメタル上記載スベキ事

五、法律關係ニ注意セヨ

森林法ハ一般ノ刑罰法ニ比シ法律關係極メテ複雑タリ從テ其取調ベント

スル事實ヲ法律關係ニ對當シ以テ遺漏ナカラシムコトニ勉メザルベカラズ
森林窃盜犯ノ取調ヲ爲スニ該リ特ニ注意ヲ要スベキ点ヲ擧グレバ

(一) 犯罪ハ一人ニシテ之ヲ爲シタリヤ將タ數人ナリシヤ

(二) 盜伐行爲ニ着手シタル時間ト其終了シタル時間

(三) 盜伐物件ヲ運搬シタル方法

(四) 盜伐物件ヲ原料トシテ物品ヲ製作シタリトセバ其製作行爲完了ノ時

期

(五) 森林窃盜及贓物ヲ原料トシテ物品ヲ製作シタリトセバ其使用シタル

物件ト物件ノ所有主

(六) 根株ニ毀壞其他ノ行爲ヲ爲シタルコトナキヤ

(七) 贓物ノ運搬寄藏收受故買牙保等ヲ爲シタリトセバ其贓物ノ價格

以上(一)ノ事項ハ犯人ガ一人以上ナルトキハ刑罰加重セラレベク(二)記載

シタル時間ノ一方ガ夜間ニ該當スルトキハ法律上加重セラレ(三)ノ事項ハ

運搬ニ物件ヲ使用シタルトキハ法律上ノ加重トナリ(四)ハ製作行爲ノ終了

ノ時ヨリ公訴時効ノ計算点タルベク(五)ハ犯具ニ對シ沒收セラレト否ト

ニ分カルベク(六)ハ法律上刑罰ヲ加重セラレ(七)ハ贓物ノ運搬其他ノ行爲ヲ

ナシタルキハ其贓物ノ價格ハ罰金量定額ノ標準トナレバナリ以上法律上

ノ加重ト記載シタルハ森林法第八十四條ノ適用ヲ受クルニ至ルコトニシ

テ判例ノ示ス處ニヨレバ右第八十四條ハ第八十三條ニ對スル加重的法文

ナリト論定セリ故ニ暫ラク判例ノ用語ニ從ヒタル所以トス

六、森林司法警察官ノ取調ハ一般司法警察官ノ取調ニ及バズ

森林司法警察官ノ取調ヲ見ルニ一般司法警察官(一般司法警察官ト

ハ警察官ヲ謂フ)ノ取扱ニ比シ著シク劣レルヤノ感アリ尤モ多數ノ森林

司法警察官中ニハ拔シデテ良好ナル書類ヲ作成スルモノアルモ是レ稀ニ

見ル處ニシテ通ジテ以上ノ如キ感ヲ起セリ是レ其理由如何惟フニ森林司

法警察官ノ智識ハ一般司法警察官ニ及バザルノ致ス處ニ非ラズシテ一

般司法警察官ハ常ニ犯罪ニ該リ其實驗ヲ積ムノ機會甚ダ多キニ比シ森

林司法警察官ニ在リテハ此等ノ機會少ナキノ致シ所ニ外ナラズ然ラバ森

林司法警察官が如何ニセバ技術ヲ上達進歩スルコトヲ得ルヤ是レ同官ハ常ニ自ラ書類作成ノ豫習ヲ爲シニアリ乃チ著者ノ各研究書ハ同官ノ豫習ヲ目的トシテ編成シタルモノナリ

七、自白ハ重キヲ爲サズ

犯罪ニ對スル自白ハ裁判上ノ證據タル能力ヲ有スルモ本來口頭一片ノ供述タルニ過ギザルヲ以テ何時ニテモ之ヲ翻ガヘサルベキモノナリ又タトヒ翻ガヘサル、コトナシトスルモ自白ニ虚偽アルヤモ計リ知ル可カラズ從テ自白アリトスルモ決シテ之ニ安ズベキモノニ非ラズ自白ハ果シテ眞實ニ適合スルヤ否ヤニ關シ更ラニ搜查ヲ盡スコトヲ要ス本研究書第五卷中被告人佐々木龜松ハ國有林ヨリ盜伐シタル事實ヲ自白シ而シテ森林司法警察官ハ被告ヲ同行シテ犯所ニ臨ミ以テ其盜伐物件ヲ指摘セシメタル上犯罪ノ時期其他犯罪ノ手段方法ヲ取調べ自白ト符合スル證據ヲ得タルヲ以テ將來被告ハ右自白ヲ取消タリトスルモ事件ハ決シテ翻ガヘサル、事ナカルベシ故ニ搜查官ハ一旦自白ヲ得タリトスルモ他日其自白ヲ翻

ガヘサレタルトキハ更ラニ如何ナル證據ニヨリテ其犯罪ヲ斷定スルニ足ルベキモノナリヤヲ考察シ證據ノ集取ヲ閑却スベカラズ

八、性行調書ニハ無價値ノモノ多シ

森林司法警察官ニヨリテ作成セラル、性行調書ヲ見ルニ多大ノ勞力ト時間トヲ費シタル跡屢然トシテ見ルベキモノアルニモ拘ハラズ其有効ノ文書タルモノ甚ダ少ナキノ感アリ何ントナレバ性行調書中ノ最モ主要部分タル性行欄ノ記載ハ世間ノ風評等ニ基礎ヲ置クモノ多ケレバナリ然レドモ所謂風評ナルモノハ極メテ空漠タルモノニシテ何人モ其責任ヲ負フモノ之レアルコトナク從テ如斯基礎薄弱ナルモノヲ捉ヘテ苟モ人ノ自由財産等ヲ剝奪スベキ刑罰量定ノ材料トナシコト能ハザルガ如キハ甚ダ見易シキトコロナリ故ニ森林司法警察官ハ其取調ヲ爲スニ當リ事實ト其事實ハ出所ニ對シ充分ナル調査ヲ必要トス然レモ事實ヲ掲ゲテ其人ヲ現ハシコトハ往々其人ノ難ンジル處ナルベキヲ以テタトヒ公益ノ爲メナリト謂ヒ人ノ欲セザル處ニシテ併カモ其人ハ他人ヨリ將來怨恨ヲ受クベキ處ア

ル事實ニ對シテハモトヨリ其記載ニ關シ顧慮ヲ費サバルベカラズ故ニ予ノ意見ニヨレバ其氏名ハ保留シ置キ『或ル部落民』又ハ『或者』ト記載シ置キ他日其記事ハ問題トナリタルトキハ茲ニ如メテ氏名ヲ顯ハシモ止ムコトヲ得ザルコト、信ズ

九、聽取書作成以前ニ供述ノ變更アリタルトキハ變更以前ノ供述ハ必ズシモ錄取スルニ及バズ

犯人ハ其供述ヲ爲スニ當リ直チニ自白ヲ爲シモノニ非ラズシテ取調官ヨリ注意勸告ヲ受ケ漸ク之ヲ爲スニ至ルモノ多シ如斯場合ニハ一々自白ニ至ル經路ヲ錄取スベキモノナリヤ予ヲ以テ之ヲ見レバ未ダ聽取書ニ錄取セラレザル以前ニアリテハ必ズシモ其經路ヲ錄取スルノ要ナク單純ナル自白事實ノミヲ掲グルヲ以テ足レリト信ズ何ントナレバ自白ノ經路ヲ記載シタレバトテ大ナル利益アリト信ズルコト能ハザレバナリ犯罪者ガ其取調ヲ受クルニ當リテハ極力其犯罪ヲ遁カレント試ミルガ如キハ人情ノ常ナレバ之ヲ以テ其者ヲ非難スベキニ非ラズ然レモ幾多ノ證據ヲ突キ付

ケラレタルニモ拘ハラズ尙非認セント試ミ後チ漸ク自白シタルモノ、如キハ其經路ヲ現ハシモ無益ノコトニ非ラザル可キモ通常ノ場合ニ在リテハ其供述ヲ節約シ調書ヲ簡潔ナラシムルヲ以テ可トス調書ノ簡潔ハ書クモノ讀ム者共ニ勞少ナケレバナリ

一〇、事件現行犯アルニ非現行犯ノ取扱ニ依ルハ如何ニ

森林司法警察官ノ所扱ヲ見ルニ事件現行犯ナルニ拘ハラズ非現行犯トシテ取扱フモノ尠ナカラズ抑々之レ如何ナル理由ナリヤ現行犯タルコトヲ知ラザルニ依ルカ將タ知リテ尙之ヲ爲スヤ其邊ノ事情ハ判カラザルモ現行犯タル以上ハ當然現行犯ノ取扱ノ手續ニ依ル可キモノトス乃チ現行犯ノ取扱ニヨルトキハ法律ニ從ヒ犯人ヲ逮捕シ檢證訊問差押等ヲ爲シ得ベク被告人ノ承諾ヲ求ムルコトナキニ反シ非現行犯ノ取扱手續ニ依ルトキハ凡テ承諾ヲ求メザルベカラザルヲ以テ不便尠ナカラズトス此ノ見地ヨリシテ本研究書第五卷ヲ讀ムニ阿部淺吉、佐々木政吉、山崎奥之助ハ賊品ト認ムベキ長柱ヲ携帯シ且ツ彼等ハ『ア、人ト會ハナイデヨカッタ』

『ヤレ、安心、』ト謂ヒ放チタリトセバ其犯罪タルコトハ争フ可カラザルヲ以テ法律上準現行犯トシテ各被告人ヲ逮捕シ迅速機敏ニ各關係人ノ取調ヲ爲シタルトキハ更ラニ事件ノ真相ヲ得タルヤモ測リ知ルベカラズ然ルニ被告龜松ト國五郎ヲ日ヲ異ニシテ取調ヲ爲シ兩人ヲシテ相打合ヲ爲サシムルノ機會ヲ與ヘタルハ甚ダシク手落ちタルヤノ憾アリトス

一一、取調官ハ供述者ノ供述ヲ判斷セヨ

森林司法警察官ガ犯罪捜査ニ關シ各關係人ノ取調ヲナシタルトキハ其取調後其供述ハ果シテ眞實ニ適合スルヤ否ヤニ關シ一應ノ考慮ヲ費サザルコトヲ要ス、タトヒ被告ハ犯罪ヲ擧ゲテ自白シタルガ如キ態度アリトスルモ容易ニ信ズベカラズ乃チ他人ト共同シテ犯罪ヲナシタルニ拘ハラズ自ラ一人ニテ犯罪ヲ爲シタルガ如キ陳述シ以テ他ノ共犯人ヲ擁護スル場合往々ニシテ之レナキニ非ラズ如斯陳述ヲ看破スルコト能ハズトセバ捜査官トシテ大ナル不成功タリ乃チ一犯罪者ノ詭辯ニヨリテ他ノ犯罪者ヲ逸シタルモノナレバナリ故ニ捜査官ハ常ニ鋭敏ナル觀察力ヲ養ヒ犯罪者

ト對抗シテ一步モ輸スルコトナキヲ覺悟シ置カザルベカラズ本研究書第五卷ヲ見ルニ佐々木龜松ハ自ラ一人其責ヲ負ヒ共犯鈴木國五郎ノ犯罪ヲ秘シタルガ如キノ感アリ此点ノ捜査ニ關シ捜査官ニ捜査上ノ遺漏アリシコトハ識者ノ明カニ認識スル處ナリ捜査官ハ常ニ犯罪者ニ對スル心理方面ノ研究モ忽カセニスベカラザルモノト信ズ

一二、捜査ハ疑問ヲ以テ進ムコトヲ要ス

凡ソ捜査ハ疑問ヲ以テ生ジ疑問ナカラシムル程度ニ達スル迄進行スルコトヲ要ス疑問ヲ容ルベキ事項ニ對シ疑問ヲ容レズシテ捜査ヲ進行セザルハ之レ捜査ノ不充分ナルコトヲ證明スルモノナリ此ノ見地ニ基キ本研究書第五卷ヲ讀ムニ柴田常吉ノ取調ナキハ著シク欠点ナリトセザルベカラズ取調官ハ同人ニ對シ何等犯罪ノ嫌疑ナシト認メタリトスルモ事件ノ關係ヲ明瞭ナラシムル上ニ於テ一應ノ取調ヲ必要トスベク況ンヤ犯罪ノ嫌疑モ存ジ得ルニ於テオヤ試ミニ疑問ノ点ヲ掲グレバ

(一) 柴田常吉ハ阿部淺吉ヨリ長極買入ノ契約ヲ爲シタリヤ

(二) ナシタリトセバ長証ハ不正品タルコヲ知ラザリシヤ
 (三) 或ハ常吉、淺吉間ニ何等賣買上ノ契約ナカリシヤ
 取調ノ結果以上(一)(二)ノ点ニ止マラバ格段ノ影響ヲ事件上ニ及ボサザルモ
 若シ(三)ノ如キ事實發生セバ阿部淺吉ノ陳述ハ一部虚偽トナリ從テ運搬中
 ノ長証ハ何人ニ運搬セラル、モノナリシヤ不明トナリ新タニ搜查ヲ開始
 セザルベカラザルコトニ至リ局面ニ大ナル變更ヲ及ボスコトナシトモ限
 ルベカラズ如斯事情關係アルニ拘ハラズ此ノ点搜查スル處ナカリシハ惜
 ムベキコト、ス

一三、主要事項先記主義ニ關シテ

主要事項先記主義トハ之ヲ搜查ニ關スル聽取書ニ事例ヲ求ムレバーノ聽
 取書中證據トナルベキ部分ヲ先記シ然ラザルモノヲ後記スルノ方法ヲ謂
 フモノトス是レ主トシテ記錄ヲ讀ム者ノ便益ヲ圖ラントスルノ趣意ニ出
 デタル記載方ナリ乃テ記錄閱覽者ハ未ダ記錄ノ全部ヲ通讀セザル以前ニ
 於テ既ニ記錄中主要部分ヲ了解シ得ルニ至ルベケレバナリ現今ノ如キ事

務繁劇ナル時代ニアリテハ此主義極メテ適當ト思料ス本卷ニ於ケル著者
 ノ聽取書ハ凡テ此主義ニ則リ記載シタルモノナリ乃テ阿部淺吉、佐々木
 政吉、山崎與之助ノ聽取書ハ犯罪構成要件ニ屬スル事項ノ自白ノ点ヲ先
 記シ佐々木龜松ノ聽取書ハ盜伐行爲ノ事實ヲ先記セザリシモ右ハ龜松ガ
 容易ニ自白セザルコトヲ慮リ阿部淺吉外二名ニ影響アル赃物運搬依託ノ
 事實ヲ先記シテ次ニ盜伐事實ヲ記載シタルモノトス

一四、取扱上ノ批難ヲ避ケヨ

近來司法警察事務ノ取扱ニ對シ非難ノ聲頗ル高キモノアリ一言ニシテ謂
 ヒバ人權蹂躪シタリト謂フニ在リ試ミニ其ノ重ナル点ヲ擧グレバ
 一、自白ヲ強要シタリトノコト

是レハ被告人ガ犯罪事實ヲ自白セザルニ拘ハラズ取調官ハ法律ノ認メ
 ザル手段ヲ用キテ自白ヲ強要シタリト云フニ在リテ一例ヲ擧グレバ被
 告人ニ對シ自白セザル限リハ何日經テモ歸宅ヲ許サズ又汝ノ妻子眷族
 共ノ取調ヲ爲スベシ之ヲ遁ガレント欲セバ速カニ自白セヨト迫リタル

ガ如キ之レガ爲メニ被告ハ眞實ニ反スル自白ヲ爲スニ至リタリト云フ
ガ如キ以下之ニ類スル事項多シ

二、令狀ニ依ラズシテ不法ニ留置シタリトノ事

事件非現行犯ニシテ令狀ニ依ラザル限り拘束力ナキニ拘ハラズ不法ニ
抑留シテ歸宅ヲ許サズ而シテ名ヲ承諾留置ニ籍リテ人ノ權利ヲ侵害シ
タリト云フガ如シ

三、夜間又ハ徹宵ニ亘リテ取調ヲ爲シト云フ事

夜間ハ人ノ安息スベキ時間ナルニ拘ハラズ何等特別ノ事情モナクシテ
夜間ノ取調ヲ爲シ甚ダシクハ取調ノ徹宵ニ亘リ著シク被取調者ヲ苦シ
メ之ニヨリテ自白ヲ得ントシタリト云フガ如シ而シテ夜間又ハ徹宵ノ
取調ハ法規ノ禁ズルモノニアラザルモ其取調ハ苛酷ニ亘リ不穩當ナリ
ト云フガ如シ

四、被告ヲ留置場以外ノ場所所謂暗黒ノ場所内ニ置キ苦シメタリト云フ
ガ如キ事

五、時間ヲ明示シテ出頭ヲ求メナガラ其時刻ニ取調ベヲ爲サルガ如キ

ハ吾ガ儘ノ振舞ナリト謂フガ如キ事等はレナリ

以上ハ果シテ事實アリヤ否ヤハ明瞭ナラザルモ如斯批難ヲ生ジタル結
果事件ハ遂ヒニ不結果ニ畢リタル事例モ尠ナカラザルヲ以テ取調官ハ
極力注意ヲ拂フコトヲ要ス勿論森林司法警察官ニ對シテ從來多ク批難
ノ聲ヲ聞キタルコト少ナキハ喜バシキコト、ス

一五、事務ノ取扱ハ敏活ナレ

事務ヲシテ其取扱ヲ敏活ナラシムルコトハ各種ノ事務皆然ラザルハナキ
モ特ニ犯罪捜査ヲ目的トスル司法事務ニアリテハ極力敏活ナル取扱ヲ爲
サルベカラズ之ヲ緩漫ニ付シ去ルトキハ證據ヲ湮滅シテ狡猾者ヲシテ
巧ニ法網ヲ免レシムルニ至ル慮アレバナリ而シテ森林司法警察官ハ或ル
官吏ノ指揮ノ下ニ其事務ニ従事スルモノナレバ其捜査シタル記録ハ速カ
ニ送致スベキモノトス本研究書第五卷ヲ讀ムニ其犯罪ニ着手シタルハ大
正九年十月十七日ナルニ事件ヲ送付シタルハ大正十年二月中ナリ現行犯

ニ均シキ事件ナルニ如斯長時間ヲ經テ送致シタルガ如キハ事務ノ敏活ヲ欠ケルモノト非難ヲ受クルモ止ムコトヲ得ザル可シ

一六、森林司法警察官自己ノ捜査シタル事件ヲ愛セヨ

森林司法警察官ガ其立場ヨリスレバ犯罪アルトキハ之ヲ捜査シ證據ヲ集取シテ事件ヲ當該官廳ニ送付スルヲ以テ職務ノ終了ト見ル可シ然レモ森林ノ保護監督ニ當ルモノハ獨リ森林官ニシテ從テ森林ト森林官トノ關係ヨリ見レバ恰モ愛兒ニ對スル親ニ該當スルモノニ非ラザルナキカ然ルニ其愛兒ガ他人ノ爲メニ傷害ヲ加エラレタル場合ニ親タル森林官ノ感想ハ如何單ニ之レガ犯罪者ヲ檢舉スルヲ以テ満足スルヤ進ンデ彼ガ如何ナル刑罰ニ處セラレタルヤモ監視セズシテ可ナランヤ從テ森林官ハ事件ハ當該官廳ニ送付シタル以後ト雖モ其刑罰請求權ヲ有スル官廳ト其事情ノ疏通ヲ圖リ以テ適當ナル結果ヲ得ルヤウ努力セザルベカラズ森林法ハ特別法規ニシテ一般ノ刑罰法ト異リ亦其法規ハ峻嚴ニシテ如何ニ森林ノ保護ト維持トヲ重視シタリヤヲ見ル可シ而シテ職權上之レト尤モ重大ノ關係

ヲ有スルモノハ森林官タレバナリ然ルニ森林司法警察官ガ當該官廳ト意思ノ疏通ヲ計ル点ニ於テ遺憾ナキヤ裁判所ニ於テ言渡サレタル刑罰ハ果シテ森林官ノ所見ト一致シテ遺憾ナキヤ予ノ見ル處ニ依レバ森林法違犯者ニ對シテハ更ラニ刑罰ノ適用ヲシテ重カシメンコトヲ希望ス敢テ問フ森林司法警察官ノ意見如何ニ

大正十年九月五日印刷
大正十年九月三十日發行

(非賣品)

著者
發行

秋田縣平鹿郡橫手町羽黑新町七番地
前田 龜太郎

印刷人
三浦 運吉

秋田縣平鹿郡橫手町新町下丁拾六番地

印刷所
羽後新報社印刷部

秋田縣平鹿郡橫手町大町上丁卅七番地

389
36

終

